



発行 No. 第135号  
 発行日 令和2年1月1日  
 発行人 川浪 廣次  
 発行所 公益社団法人 福島市  
 シルバー人材センター  
 福島市東浜町11-40  
 電話(024)531-2511



創立40周年記念 第39回福島市シルバーまつり

## 創立40周年記念事業、盛会裏に終了！

令和という新たな時代に迎えた創立40周年記念の一連の事業が、盛会のうちに終了することができましたのでご報告いたします。

まずは令和元年10月23日に開催した「創立40周年記念式典」です。センター発展に貢献された5社の発注者に感謝状を、そして率先垂範して事業に参画された64名の会員・役員に表彰状を授与しました。また、木幡福島市長をはじめ来賓の方々からのご祝辞を賜り、最後に飯坂太鼓のアトラクションが式典に花を添えました。

毎年恒例の「第39回福島市シルバーまつり」は令和元年11月16日に、「創立40周年記念」を冠し、アオウゼで盛大に開催しました。テープカットと同時に場内は大勢の来場者で賑わい、新鮮野菜や果実、手工芸品を買い求めています。

昨年度から実施している再生自転車(20台)の抽選販売も人気を集め、また、今回初めての試みで、ここに親子の広場での「大きな絵本の読み聞かせ会」では、親子で楽しむ姿が見られました。

また、今回は昨年度を上回る2,332名が来場されました。出店者も例年以上に多く、伊達市シルバーの会員も特別参加され、充実したまつりになりました。今後も出店者が増えていくことを期待しています。

「創立40周年」を冠した事業は、11月22日の「社会奉仕作業(P6に記事あり)」で幕を降ろしました。センターは更なる未来に向けて41年目を歩み始めます。改めて初心に帰り、役職員一丸となり事業を進めてまいりますので、会員皆様のご協力をお願いいたします。

# 明けましておめでとうございます



## 年頭にあたって

理事長  
川浪 廣次

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、輝かしい新年を健やかに迎えのとお慶び申し上げます。

また、昨年は創立40周年を迎え、記念式典をはじめ創立40周年を冠した諸事業を通して、会員の皆様と共に祝うことができましたこと、この上ない喜びであり、心から感謝と御礼を申し上げます。

さて、ここ数年続いている天候不順により、昨年も大きな水害が発生し、近隣の市町村では甚大な被害がありました。本宮市シルバー人材センターの事務所も浸水してしまい、未だ復興の途上であります。当センターの会員の中にも

浸水や土砂災害の被害にあわれた方もいるようです。どうか今年には大きな災害がおこらないことを祈るばかりです。

今年の干支であるねずみ(子)は危険察知能力に長けているそうです。それにあやかり、会員の皆様も安全就業に努め、事故ゼロを目指して就業してください。また、ねずみは人や場所をえり好みせずコミュニケーションに秀でているそうです。皆様も会員同士、そして発注者とのコミュニケーションを密にして、お客様のニーズに的確に応えられるセンターを目指しましょう。

センターは41年目に入りました。今年は干支の始まりの子年であり、1年目の気持ちで一度原点に立ち返り、役職員一同事業に取り組んで参る所存ですので、会員皆様の更なるお力添えをお願い申し上げます。

結びに、皆様にとりまして、本年が素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のあいさつといたします。



## 新年のごあいさつ

福島市長  
木幡 浩

明けましておめでとうございます。会員の皆様には、健やかに新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

皆様には、日頃から市政全般にわたり特段のご理解とご協力を賜っておりますことに、厚く御礼申し上げます。

今年は大震災・原発事故後10年目に入ります。改めてこれまでの軌跡を振り返り、教訓を次代に継承するとともに、新たな総合計画の策定などにより新ステージへの道筋を描いていかなければなりません。

本市では、復興への加速と将来に向けて夢が持てる新しい福島の創生を具現化するため、子供たちから高齢者まで、女性も男性も、障がい

のある人もない人も、誰もがいきいきと暮らせるまち「ひと・くらしいきいきふくしま」の実現を目指して、東京2020大会が持つ共生社会の理念に共鳴し、「誰にでもやさしいまち、ふくしま」の実現に向け、バリアフリー推進パッケージや、市民総ぐるみで進める健康づくり「健都ふくしま創造事業」、「高齢者元気アップ事業」に取り組んでおります。

このような中で、貴センターにおかれましては、高齢者の長年培ってきた技能や豊かな知識・経験を生かして雇用の安定を図り、やりがいや生きがいを創出し、ひいては健康寿命を延ばす大切な役割を担うものとなっております。会員の皆様は、今後とも健康に留意されながら、いきいきと地域社会の中心として、ご活躍されますことを心よりご期待申し上げます。

結びに、貴センターが「自主・自立」「共働・共助」の基本理念のもと、一層の飛躍を遂げられますとともに、会員の皆様にとりまして、本年が希望に満ち、健康で幸多き年となりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

# 会員の「声」

このコーナーでは会員の皆さまの「声」をお届けしていきます。  
今回は「シルバーまつり」に出店をした会員の皆さまの感想やご意見をお届けします。

## 渡辺 イチ (野菜)



まつり当日はあたたかく、始まる前からお客様の出足も良く、活気がありました。始まってからの忙しさはとても張り合いがあり楽しかったです。また次回も楽しみにしています。

## 石井 茂 (野菜)



自分で作った作物が売れるのは楽しいものです。また次回も楽しく参加したいと思います。

## 阿部 貢也 (食用菊・落花生)

約30分位で食用菊、落花生共に売り切れてしまいました。数量をもっと増やしたいところですが、家庭菜園の範囲の為、出来ずに申し訳なく思っておりますが喜んでいただける事は嬉しい事です。



## 秋廣 孝子 (和風小物、ネックレス)



お蔭さまで、今回もありがとうございました。庭の草花のブーケとリースも完売!! ネックレスもまあ〜でした! 新しいチャレンジ  
又、よろしくね!  
楽しい一日でした。  
シルバーまつりバンザイ!!

## 森田 フミ子 (手芸品・帽子)

初めて参加しました。こつこつと作りためてきた物を皆様に使っていただき嬉しかったです。また、次回に向けて大きな励みになりました。ありがとうございました。



## 菅田 八郎 (果実・野菜)

今回も参加できて楽しかった!  
次回もがんばります!!



## 鈴木 重弘 (アクセサリー)



毎年、多くの仲間の会員と時を一つにして楽しんでいきます。今回で3回目、なじみのお客様も出来、今年も来たよって言われると大きくサービスをしたくなります。お客様からのヒントを土台に陶芸に励んでいます。

## 志賀 貴恵子 (手芸品・編み物)

お客様が10時前より待っていて、シルバーパワーが炸裂でした。初出店でしたがとても楽しく一日を過ごすことが出来ありがとうございました。次回まで作品をたくさん作りためて、また参加したいと思います。



### 佐藤 静子 (人形・かけ軸)



増税や台風の被害などから人出が悪いのではと不安もありましたが、心配した程でもなく、喜んで買って頂いた商品もあり、アドバイスも受けて勉強になりました。次回も頑張りたいと思います。

### 吉田 茂雄 (蜂蜜)



今回、初参加させて頂きました。多数の人達に本物の蜂蜜を知ってもらい、次回の参加も予定しております。本当にありがとうございました。実行委員の皆様、本当に御苦労様でした。

### 栗原 利視 (漬物・野菜)

前回よりお客様が少ないように感じた。日曜日の方が多くの方に来ていただけるのではないかと感じた。



### 黒沢 テル (漬物、野菜、冬柿)

当日はいいお天気で、買ってくださったお客様に感謝しております。また、次回も参加したいと思います。



### 安齋 悦子 (カレー・手芸品)



初めてのカレーライスにしては売れたと思います。ただ、ご飯とカレーの量がうまくいかず、カレーが大量に残ってしまいました。前回よりお客様の数が少なく感じましたが参加できて楽しかったです。

### 原田 道男 (陶器・あんぼ柿)

年々、客足が伸びているように感じます。なじみのメンバーと一緒に楽しく過ごせました。次回も又参加したいと思います。



### 手芸クラブ (手芸品・帽子・編み物・ベスト・バッグ)

おかげ様で沢山の方にお買い上げいただき、一生懸命作った甲斐がありました。毎年楽しみに来て下さる方もいらして、大変励みになっています。今度は花見山に向けて頑張ります。



### 花ももの会 (玉こんにゃく・お赤飯・豚汁・手工芸品)



花ももの会会長 亀岡ツル

前日から豚汁・おでん・赤飯の仕込みに役員が汗をかき、当日、豚汁は完売、赤飯もお客様が行列を作るなど出足は好調でした。花ももの会で学習したのを基本に籠、眼鏡ケース、ベスト、帽子、その他手工芸品を製作販売して、その利益の一部を活動費とさせていただきます、花ももの会の事業のなかで会員に還元しています。このような働く場を提供していただき厚く御礼申し上げます。「継続は力なり」の言葉があるように、互いに支えあい、しなやかにいきいきとした活動を展開していきたいと念じています。



### チャリティーバザー (古着・雑貨)



品数が少なかったが、品物が良く、前回よりも多くご協力いただくことができました。

バザーの売上金は、市の社会福祉基金へ寄付させていただくことになっているので、次回も少しでも多くご協力いただければと思います。

### <特別出店> 伊達市シルバー人材センター (手芸品・和小物類)



台風19号の影響で伊達市内のイベントが中止となり、今回4名の会員が参加させていただきました。活気があり、福島市シルバー人材センターのみなさんのエネルギーを感じました。お客様との会話が楽しく、また伊達地区への励ましのお言葉をいただきとても嬉しかったです。本当にありがとうございました。



## 事業レポート

### 社会奉仕作業

11月22日 於:荒川桜づつみ河川公園

毎年恒例の社会奉仕作業。今年は雨模様の合間の小春日和となった青空と吾妻山の調和が際立つ絶景のロケーションの中、川浪理事長の挨拶で始まりました。続いてラジオ体操指導士の資格を有する大槻崇会員(笹谷B班)の先導のもと、体操音楽に合わせて、怪我予防につながる準備運動を行いました。前年度よりも28名多い参加者112名は、適度にほぐれた体で楽しそうに落葉などの清掃を実施していました。

作業終了後は「花ももの会」によるお手製の芋煮汁を囲んで談笑し、会員・役職員が交流を深める場ともなりました。太陽の光が降りそそぐ青空の下、大勢の仲間と体を動かした後の会食は“格別な美味しさ”でした。



### 社会福祉基金へ寄付

11月27日 於:福島市役所

シルバーまつりのバザーの益金34,740円を、福島市社会福祉基金に寄附するためシルバーまつり実行委員の小澤委員長と吾妻副委員長が市役所を訪問。福島市健康福祉部長の加藤孝一様より、感謝状が授与されました。



### その他の主な事業(9月~12月)

- 9月11日 安全就業推進会議
- 9月13日 運営調整会議
- 9月18日 理事会/安全・適正化就業委員会
- 10月9日 運営調整会議
- 10月16日 理事会/安全・適正化就業委員会
- 10月29日 地区委員・地区班長会議
- 11月15日 運営調整会議
- 11月20日 理事会/安全・適正化就業委員会
- 12月13日 運営調整会議/臨時理事会
- 12月17日 地区委員・地区班長会議
- 12月18日 理事会/安全・適正化就業委員会
- 12月19日 西1地区会議/福島2地区会議
- 12月23日 北2地区会議/蓬萊地区会議
- 12月24日 安全就業推進会議

福島市シルバー人材センター安全標語「気をつけて! 仲間の一言 事故ふせぐ」

# 事務局からのお知らせ

## 配分金収入に対する所得税の取扱いについて

配分金は、税法上「雑所得」として扱われます。雑所得の金額は原則として65万円が控除されます。

○公的年金を受給している方は、配分金収入とは別に公的年金等控除が受けられます。

○給与所得がある方は、給与所得控除が受けられます。

不明なことがありましたら、事務局か税務署にお問い合わせください。

## 安全就業研修会



下記のとおり開催いたします。

日時 令和2年3月12日(木)

13時30分～

場所 とうほう・みんなの文化センター  
(福島県文化センター・福島市春日町5-54)

内容 未定(乞うご期待ください)

## 配分金支払日

12月分▶ 1月31日(金)

1月分▶ 2月28日(金)

2月分▶ 3月31日(火)

3月分▶ 4月30日(木)

※配分金明細書をご希望の方は事務局に声をかけてください。

※平成31年(令和元年度)分の配分金支払証明書は、1月末頃郵送予定です。

## 地区会議開催中

西1、福島2、北2、蓬莱地区は12月に終了していますが、それ以外の地区は以下の日程で開催しますので、ご出席ください。

日にち	午前(9:30)	午後(13:30)
1月16日(木)	松川地区	東地区
20日(月)	飯野地区	福島1地区
23日(木)	南地区	西2地区
27日(月)	北1地区	飯坂地区

## 入会説明会

「1会員新規会員1名確保運動」展開中です。下記日程で入会説明会(午後1時30分開会)を当センターで開催しますので、お知り合いの方に声をかけてお誘いください。

1月14日(火)、2月12日(水)、3月10日(火)

## 会員の「声」を募集しています!

仕事の体験談はもちろん、特技、趣味、旅行記、なんでも構いませんので、みなさまの「声」をお寄せください。事務局にて随時受付しています。

(事務局担当:川口、二階堂、河野)

## 訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

山岸 和也 様 (78歳)	泉 A
北村 広男 様 (76歳)	蓬莱 A
高橋 充 様 (71歳)	佐倉
高橋 忠博 様 (75歳)	成川

## 編集後記

2019年は台風19号など災害の多い年で多難な1年でありました。

この頃、月日が経つのがとても早く感じます。我が家では毎週金曜日がカレーの日なのですが、つい先日カレーライスを食べたと思ったらまたすぐにカレーの日になってしまいます。1週間がこんなに早いのですから1ヶ月、1年もすぐに過ぎてしまいます。若い頃は1年の間に色々な事が出来て大変充実していましたが年齢を重ねてくると、あっと言う間に時が過ぎて還暦になったと思ったら古希も通り越してしまいました。

これからもっと時間を上手く使って少しでも皆様のお役に立てればと思っております。

(吾妻)